

講義名	ドイツ語入門A		
科目区分	選択外国語		
担当教員	海老原 由美子		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	1 年生	単位数	2
		講義コード	44006

主題と概要
ドイツ語を学ぶことはドイツを知ることです。ドイツってどんな国？ドイツ人ってどんなことを考えてる？ドイツ語を学びながら皆で語り合います。クラスメートには "Hallo"、目上の人には "Guten Tag!" と挨拶することからスタート。ドイツに留学した Seiko に自分を重ね合わせて、自己紹介したり、家族や友人を紹介したり、欲しい物や必要な物を言ってみましょう。町へ出て、様々な商店や銀行へ郵便局にも行ってみましょう。実際に使える身近な表現を学んだ後に、文章の規則性に気づく。このプロセスを大事にして文法を学びます。まずは表現を学び聞き、声に出して体験学習し、文法へ。すべて、ペアがグループワークとなります。なお、「ヨーロッパのことばと文化」の講義でも、ドイツ語圏の生活事情や文化、ことばについて知ることができます。

到達目標
自己紹介や他者の紹介では、様々な動詞をトレーニングすることで、名前、出身、住まいの場所、職業、年齢、趣味、好きな飲み物が言えるようになります。その際、数字やアルファベットも導入します。また、身の回りの事物、商店や施設の名詞をトレーニングすることで、ドイツ語の大きな特徴の一つである名詞の仕組みをマスターします。その際、時刻を導入します。繰り返し発音する機会を作ること、しっかりした発音を身につけます。

提出課題
毎回の授業の復習として、教科書に添付されたワークシートはもちろん、教科書の内容を補うワークシートの提出が課題となります。週に一度の授業ですので、この課題提出は評価の重要なポイントとなります。

評価の基準
平常点（出席 - 15%、提出物 - 25%、小テスト - 10%）50%、筆記試験と口頭試験 50%

履修にあたっての注意・助言他
教科書（ワークブック付き）は毎回の授業に必ず持参してください。聞き取りに力を入れますので、CDを聞くことを習慣づけてください。音に慣れることが一番だからです。ペア、グループでのワークが中心ですから、互いに助け合って、自発的に授業に参加すれば、力をのばすことができますと思います。

教科書
『CD＆ワークブック付きベーシック版自己表現のためのドイツ語＜プラス＞』、板山真由美 塩路ウルズラ 三修社 2800円 978-4-384- 本河裕子 吉満たか子

プリント資料及び参考文献
<推薦辞書・サイト> アガロン独和辞典 同学社 / 辞書サイト glosbe

授業計画
1回 L1 ドイツへ 挨拶＆自己紹介、機内での会話 2回 L1 ドイツへ 機内での会話・好きな飲み物・苦手の飲み物 3回 L1 ドイツへ 私の職業は学生です。あなたは？ 4回 L1 まとめとミニテスト 5回 L2 ホストファミリーでの第1日目 きょうの調子はどうですか？ 6回 L2 ホストファミリーでの第1日目 空港で出迎えてくれたオリバーとの会話 7回 L2 ホストファミリーでの第1日目 オリバーと互いの家族を紹介しあう 8回 中間テスト 筆記と口頭 9回 L3 新しい環境 私の部屋と部屋にあるもの、なくて必要なものを言う 10回 L3 新しい環境 メールの書き方 11回 L3 新しい環境 このランプをどう思う？ 身の回りの物についての感想を聞く＆答える 12回 L4 Seikoは町に行きます この近くに郵便局はある？ 13回 L4 Seikoは町に行きます 今日の午後何をする？ 14回 L4 Seikoは町に行きます 今は何時ですか？/ Seikoは10時半に何をしますか？ 15回 まとめと期末テストの準備

予習・復習
復習を重視します。復習プリントを必ず課題とします。それが次回の授業への理解に繋がります。短時間でもよいので、毎日ドイツ語に触れる習慣をつけてください。一日に一度は教科書を開く。CDを聞く。授業でトレーニングした会話を音読する、新しく学んだ単語を書き出すなど、いろいろな方法があります。

備考
一回目の授業には必ず出席してください。履修への注意事項やアドバイス、授業の進め方など重要事項を説明します。受講生の理解度に応じて、授業の進度を調整したり、授業や課題の内容を変更する場合があります。全体として、発音を重視しますので、授業中の発音練習・会話練習に積極的に参加してください。